

水道事業は、皆さんからお支払いいただく水道料金に支えられています。

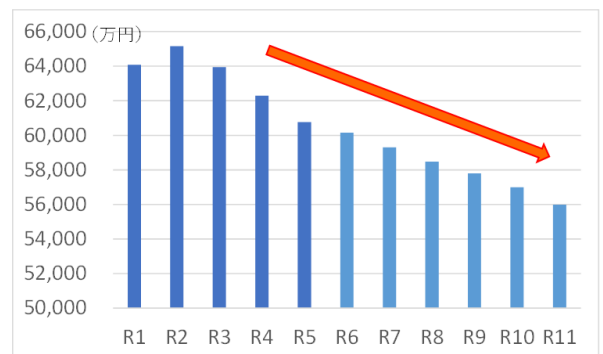
安心で安全な水を安定的にお届けするために必要な水源地や水道管などの設備整備・更新・耐震化にかかる費用は、主に水道料金で賄われています。しかし、水道事業を取り巻く経営環境は厳しく、現在の水道料金では安定した経営が困難な状況になってきています。

今後の水道事業の方向性を検討しています

市の水道事業には次のような課題があります。

■水道料金収入の減少

人口減少や節水意識の向上・節水型機器の普及により水道使用量が減り、収益が大幅に減少しています。この傾向は今後も続き、必要な財源の確保はさらに厳しくなります。<図1>



<図1> 水道事業(上水道)の料金収入
(令和6年度以降は予測)

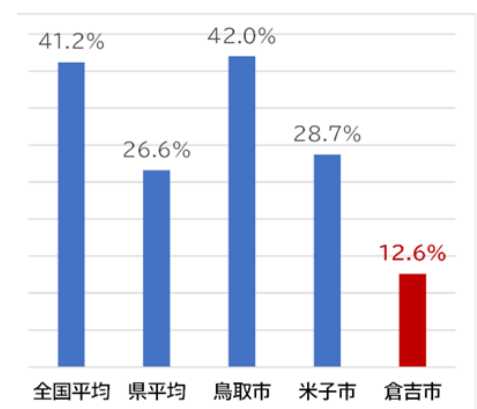
■求められる災害に強い施設

令和6年1月に発生した能登半島地震を受けて、重要なライフラインである水道施設の耐震化が注目されています。

しかし、耐震化の指標の1つである市の「上水道基幹管路の耐震適合率」は、全国平均や県平均よりも低く<図2>、大規模災害に備えた計画的な耐震化が必要です。

また、市内の多くの水道管は老朽化しており、更新時期を迎えています。こうした耐震化や更新には、多額の工事費がかかり、近年の物価高騰の影響もありその費用は年々増加しています。

災害時でも安定的に水を供給し続けるためには、水道施設の耐震化・更新という事前の備えが必要です。



<図2> 上水道基幹管路の耐震適合率
(令和3年度末時点)

倉吉市水道事業運営審議会について

市では、水道料金や水道事業の適正な運営について調査・審議するため、市民代表や学識経験者で構成される「倉吉市水道事業運営審議会」を開催しています。

令和6年9月30日の第1回審議会では、広田市長が審議会に対して、水道事業に関する諮問(審議会に意見を求めること)を行いました。

現在、委員の皆さんにより、諮問内容が審議されています。



広田市長(左)から
諮問書を受け取る生田会長(右)

市長からの諮問内容

- 1.耐震化・更新の方向性及び水道料金の改定について
- 2.水道事業経営戦略の見直しについて

〔審議会の開催状況〕

- 第1回 令和6年 9月30日(月)
審議内容:耐震化・更新の方向性
- 第2回 令和6年10月15日(火)
審議内容:水道料金の体系について
- 第3回 (予定)
令和6年11月11日(月)午後1時30分～
市役所 本庁舎3階 大会議室
審議内容:水道料金の改定について



審議会の様子

倉吉市上下水道局 業務課

倉吉市葵町722

電話: 0858-27-0633 FAX: 0858-27-0639

E-mail: suidou11@city.kurayoshi.lg.jp

最新情報は上下水道局ホームページをご覧ください

<https://www.city.kurayoshi.lg.jp/6344.htm>

